

報告事項ウ

「総務省プログラミング教育キャラバン（出前講座）」の開催結果について

「総務省プログラミング教育キャラバン（出前講座）」の開催結果について、別紙のとおり報告します。

平成30年1月25日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

## 「総務省プログラミング教育キャラバン（出前講座）」の開催結果について

平成30年1月25日  
教育環境課

総務省ではプログラミング教育に関心のある地域、また情報の少ない地域においてプログラミング教育に関する普及・啓発を目的に学校関係者、保護者、児童生徒等を対象とした出前講座を開催しています。

総務省からの案内を受け、このたび岩美町教育委員会及び鳥取県ICT活用教育推進協働コンソーシアム事務局の協力により総務省プログラミング教育出前講座が下記のとおり開催されました。

### 記

- 1 期 日 平成29年12月9日（土）午前9時から午後0時30分まで
- 2 会 場 岩美町立岩美南小学校（岩美郡岩美町新井419-2）
- 3 受講者 岩美南小学校5年生 30名
- 4 見学者 近隣小学校教員、保護者、県及び市町村教育委員会事務局職員等 約30名
- 5 概 要

#### （1）プログラミング体験講座

講師：一般社団法人国際STEM学習協会 代表理事 渡辺 ゆうか 氏

○受講した児童らは、数名のグループに分かれて学習用ロボットキット「FabWalker（ファブウォーカー）」を組み立てて教材とし、ビジュアルプログラミング言語「Studuino（スタディーノ）」を用いて当該ロボットを制御することを通して、プログラミング的思考を学んだ。

○ロボットキットの組立てやプログラミングに当たっては、講師を補助するメンター役を鳥取城北高校の生徒8名が務め、課題に向かう児童らに適切な指導助言を行い、予定時間までに課題のプログラムを完成させることができた。

○講座の最後には、各グループのロボットをプログラミングによって教室内に設置した目標物に向けて走らせ、目標物に接触はさせずに、いかに近くで止められるかを競い合った。

○参加した児童からは「自分が作成したものが思い通りに動かせて嬉しかった」と感想を述べており、達成感を得ている様子だった。



#### （2）講師による説明会

講師からプログラミング教育の普及啓発に関し、以下のような説明があった。

○今後、AIやIoTの普及に伴い、情報通信とつながるものづくり社会に対応するため、インターネットが利用できる人材やプログラムが使える人材が求められる時代になってくる。このような社会に対応するためにはプログラミング教育が必要。

○他県の出前講座でも、地元の大学生等に講座のメンターとして協力してもらっている。メンターの役割を通じて、学生自身も学ぶことが多い。今後のプログラミング教育の普及にあたっては、このような教える側の人材育成が重要である。